

執筆要領

原稿は、ワードプロセッサまたはコンピュータソフトを用いて作成する。プリントアウトした原稿1部(図表を含む)とフロッピーディスクを編集局へ送付する。フロッピーディスクのフォーマット、使用したマイコンの機種、ワープロソフトは一般に使われているものなら何でも結構ですが、使用したマイコンの機種、ワープロソフト、氏名及びタイトル名をフロッピーディスクの上に明記して下さい。なお、念のため、テキスト形式で保存したファイルも添付するようにして下さい。

総説と技術ノートの著作には、別刷り50部を無料でさしあげます。50部以上希望の場合は有料となりますので、編集局までその旨連絡して下さい。また、非会員で総説または技術ノートを執筆いただいた場合、会費免除で1年間本学会会員になれます。

1. 総説と技術ノート

- 1) 原稿の長さは、図、表、文献を含め刷り上がりで8ページ程度(1頁は約1400字と考えて下さい: 横1行18文字で1頁39行×2=78行)とする。
- 2) 第1頁に表題、著者名、所属及びその所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス及び脚注(必要がある場合)を記す。
- 3) 第2頁に400字程度のアブストラクトを記入する。
- 4) 本文に節を設ける場合、1、2、3、・・・とする。
- 5) 書体の指定は、プリントアウトした原稿に朱で行い、斜体(イタリック体)は1本下線(____)、太字体(ゴシック体)は波下線(~~~~)とする。
- 6) 参考文献の数は特に制限しないが、50編以内が望ましい。参考文献は、アルファベット順に通し番号を付けて文末にまとめて掲げる。本文中の引用箇所には、通し番号を右肩に付けて示す。
(例) Aschoffによると¹⁻³⁾、・・・である^{5, 8, 9)}。
- 7) 文末の参考文献の記載は、次のようにする。
[雑誌] 通し番号) 著者名: 誌名、巻数、ページ(発行年)
[書籍] 通し番号) 著者名: 書名、ページ、発行所(発行年)
(例) 1) Aschoff J, Gerecht U, Wever R: Jpn J Physiol. 17:450-457 (1967)
2) Aschoff J: Circadian Clocks, pp 95-111, North-Holland, Amsterdam (1965)
- 8) 表は原則として3~5程度とするが、必要に応じて増やすことができる。簡潔な標題と必要な説明をつけて、本文とは別の用紙で作成する。
- 9) 図は原則として3~5程度とするが、必要に応じて増やすことができる。1枚の刷り上がりの大きさは、14cm(横)×10cm(縦)か、7cm(横)×10cm(縦)となるようにする。図には簡単な標題を付ける。図の標題と説明は別紙にまとめる。
- 10) 図及び表の表示は、図1、図2、・・・、表1、表2、・・・の通し番号で行う。これらを挿入する箇所を、プリントアウトした本文の原稿欄外にエンピツ書きで指示する。
- 11) 図及び表を文献から引用した場合は、引用を明記するとともに、引用の許可が必要な場合には、著者の責任で許可をとっておく。

2. 研究グループ

研究室や研究グループの紹介記事。刷り上がりで1~2ページ程度。執筆者を含む顔写真、または研究現場のスナップ写真を少なくとも1枚添付する。写真には標題と説明を付ける。

3. 海外レポート

留学などで滞在した研究室、訪問した研究施設、あるいは海外調査や見聞の紹介記事。写真があれば添付する。刷り上がりで2~4ページ程度とする。

4. 関連集会報告

国内外の関連集会の紹介記事。写真があれば添付する。刷り上がりで2~4ページ程度。

編集後記

◆懸案事項の編集委員会が以下のメンバーで構成されました。本誌は編集委員会による企画第一号として、富岡先生が中心となって「生物時計関連遺伝子」を特集したものです。これとは別に、時間生物学研究に役立つ研究手法を解説するために技術ノートも企画しました。それぞれ内容のある総説で参考になるものばかりです。大いに活用して頂きたいと思います。

編集委員会

海老原史樹文（委員長、名古屋大学生命農学研究科）、安倍博（北海道大学医学研究科）、内山真（国立精神・神経センター）、大塚邦明（東京女子医科大学）、富岡憲治（山口大学理学部）

◆SRBRの会議に参加してきました。時計遺伝子を中心とした分子生物学的研究の発表が圧倒的に多く、リズム発振機構の全貌が明らかになるのも近いと感じました。この分野での日本人の貢献度は高く、それを反映して日本からの参加者は今までになく多く、特に若い人の参加が目立ちました。ここしばらくは時計の分子機構解明に向けた研究が猛スピードで進むと思われますが、その後の方向性を考える時期に来ているように感じました。

◆本誌へ投稿を希望される方は編集局までご一報ください。時間生物学に関連する記事を受け付けています。

日本時間生物学会会誌 Vol.6, No.1 (2000) 平成12年5月発行

発行:日本時間生物学会

(事務局) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻内
TEL:052-789-2498/FAX:052-789-2963

(編集局) 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用分子生命科学専攻内
TEL&FAX:052-789-4066